

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行：中津市議会議員 大塚 正俊 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
 URL (ホームページ) <http://www.m-ohtsuka.com/>



“待ったなし、地球温暖化対策”

8月に入って記録的な猛暑が続き、熱中症による死者も1,000人にのぼっています。毎年のように極端な猛暑や豪雨が続き、「温暖化の影響ではないか」との声が上がっていましたが、最近の研究でその因果関係が裏付けられました。

温暖化による本当の脅威は「まだ先のこと」と考えていた人も多いかもかもしれません。

しかし、温暖化によってすでに猛暑や豪雨の被害は大きくなっていて、今後も拡大していくということが研究によって突きつけられました。

科学のメッセージを受け止め、地球規模で温暖化を食い止める努力と熱中症などへの対策を急ぐことが求められています。



令和元年第2回（9月）定例議会で決まったこと。【抜粋】

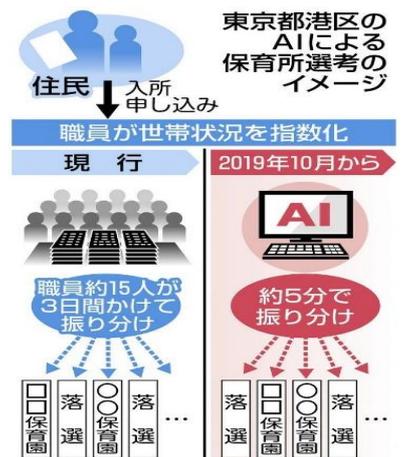
令和元年第2回定例市議会は、9月2日から9月30日の29日間開催されました。

令和元年度一般会計補正予算等の予算議案10件、条例議案13件、平成30年度決算認定議案14件、その他議案3件、人事案件1件、報告案件6件、意見書2件の計49件が上程され、意見書1件を不採択、その他の議案は原案通り可決しました。なお、決算認定議案14件は継続審査とし、12月議会で採決されます。

1. 令和元年度一般会計補正予算（第3号）；補正額5億1,832万円

（補正後予算額426億5,035万円）

- 景観形成補助金事業；410万円
 - ・ 古民家再生に対する補助金の創出、諸町・豊後街道の景観形成補助金の増額（補正後予算額；750万円）
- 行政スマート化推進事業；189万円
 - ・ 市職員の負担となっている業務を洗い出し、AI・ICT導入の可能性を検証する。
- 子育てのための保育施設等利用給付事業；2,216万円
 - ・ 保育の無償化に伴う認可外保育施設等の保育料（37,000円/月を上限）及び預かり保育（利用日×450円を限度）を利用した場合の保護者負担分を給付する。



- ごみ処理一般管理事業；134万円
 - ・来年度の外国語版（5ヶ国語）ごみカレンダーの作成費用
 - 地域おこし協力隊活動事業；743万円
 - ・農林水産業の担い手育成に特化した隊員の採用（農業2名、漁業1名、林業1名）
 - 観光宣伝活動事業；12万円
 - ・新歴史博物館にレンタサイクルを7台配置し、貸し出しを行う。
 - 幼稚園副食費負担事業；195万円
 - ・年収360万円未満相当の世帯等の幼稚園給食の副食費を無償化（約100名分）
 - 児童福祉施設整備事業；886万円
 - ・大幡児童クラブの防犯対策用の外構工事の追加
 - 観光施設管理事業；160万円
 - ・洞門キャンプ場トイレの貯留マスの修繕工事
 - 宮永角木線街路事業；2,390万円
 - ・スーパー金枝～産業道路間の建物移転補償費の増額
- （補正後予算額；1億3,500万円）
- 排水対策管理事業；625万円
 - ・本耶馬溪町多志田地区の内水ポンプ排水管を仮設から本配管に更新する工事
 - 緑ヶ丘中学校校舎増設事業；5,330万円
 - ・国庫補助金の増額による工事の前倒しを実施



駅高架下のレンタサイクル



大幡児童クラブ



工事が進む宮永角木線

2. 条例の一部改正（抜粋）

- 印鑑条例の一部改正
 - ・法律の一部改正により、11/5 から旧氏で住民基本台帳の登録と印鑑登録が可能となる。

3. 意見書

- ①核兵器禁止条約への参加を求める意見書（不採択）
- ②北朝鮮等の現実の安全保障上の脅威に対処するとともに、核兵器禁止の取り組みを強化することを求める意見書（採択）

9月議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 地方創生に向けて

- ①まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と重要業績評価指数（KPI）の達成状況
- ②旧町村ごとの取り組み成果と課題
- ③人口の推移と今後の予測（旧市町村ごと）
- ④合計特殊出生率の高止まりと女性人口の減少
- ⑤地方創生に向けた財源の確保
- ⑥第2期総合戦略の策定とその策定手法



2. 日本遺産認定を地域の活性化につなげるために

- ①日本遺産認定後の取り組みと市内観光に与えた効果
- ②観光入込客数、宿泊者の推移（旧中津市と下毛）
- ③農家民泊の宿泊者数と今後の展開
- ④観光客の交通手段の確保
- ⑤来年度以降の取り組みと財源の確保



1. 地方創生に向けて（抜粋）

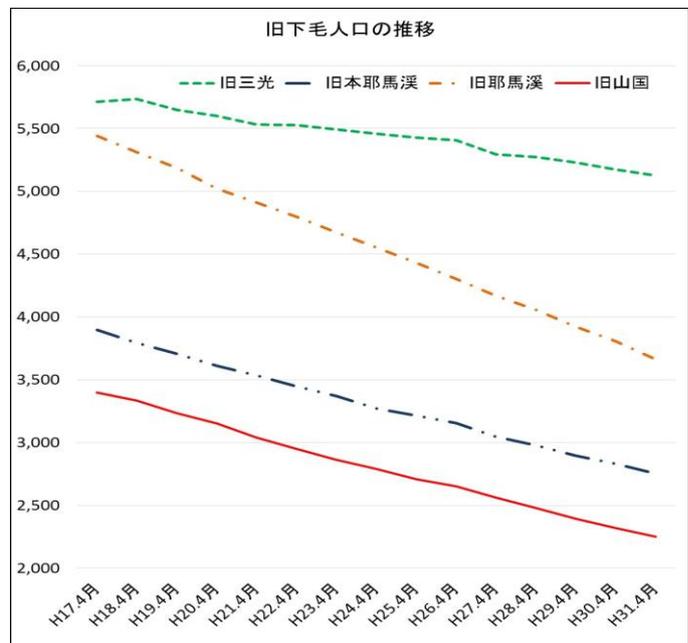
〔情勢〕市では、平成27年10月に、人口の現状と将来展望を示す「人口ビジョン」と、これを達成するための今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各施策の実施によって中津市に住んでいる人が「住んでよかった」と実感できる市民満足度の高いまちづくりを目指しています。

(1) 人口の推移と今後の予測

＜質問＞本耶馬溪、耶馬溪、山国町では年間2.5～3%も人口が減少しており、このまま推移すれば10年後にはさらに25～30%も減少することとなります。人口減少問題を解消するために、移住・定住対策を最優先とし、林業、果樹、ブランド農作物等の第1次産業の振興、サテライトオフィスやテレワーク、起業者の育成、企業誘致等が急務と考えますが、如何ですか。

【答弁】現在、旧下毛地域において地域おこし協力隊や田舎困りごとサポート事業、また、中山間地域での創業支援事業、移住・定住支援事業や定住対策のための高等学校通学費補助事業、さらに、山国地域におけるみんなのお店の運営やコミュニティバスの運行等を行っているところです。

今後も、現在取り組んでいる様々な事業を継続・拡充させるとともに、移住に関心を持って取り組まれている様々な団体と協働でサテライトオフィス等、雇用を伴う移住・定住策についてさらに研究していきます。



(2) 地方創生に向けた財源の確保

＜質問＞平成31年3月に公表された財政推計H30年度版では、令和3年度末の財政調整基金残高が22億22百万円となっています。目標としている標準財政規模の10%（25億円）を割り込んでいます。

さらに、令和5年度末には16億24百万円まで減少する推計となっており、中津市の財政は非常に厳しい局面を迎えると考えています。この推計には、今後40年間で約724億円の公共施設更新費用が必要となる財源は計上されているのか伺います。

【答弁】公共施設の改修や更新費用は、財政推計では「普通建設事業費」の項目に含まれます。この普通建設事業費の推計については、合併特例債発行終了に伴う今後の市債発行見込みや市債残高の抑制等を勘案し、令和2年度以降は55億円で推計しています。

＜質問＞また、「令和3年度末に市債残高を400億円以下に抑制」という行政サービス高度化プランの目標を設定していますが、財政推計では約405億円となっています。

このような状況にあっても、旧下毛地域の抱える人口減少や高齢化社会、地域振興問題に必要な財源はしっかり確保すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】現在、「なかつ安心・元気・未来プラン」に基づき、市民の「暮らし満足」を高める施策を、この中津市全域で、様々な分野で積極的に推進しています。

そして、それらの施策を実現させるため、「行政サービス高度化プラン」に基づく自主財源の確保や事務事業の見直し、経費節減などの取り組みを強化することで、当然ながら、旧下毛地域のみならず中津市全域の振興のため、財源の確保を図り、健全な財政運営に努めているところです。

(3) 第2期総合戦略の策定とその策定手法

＜質問＞第1期総合戦略の問題点として、支所単位の地域別構想や重点施策、重要業績評価指標（KPI）が設定されていないこと、人口推計が旧市町村ごとに推計されていないこと、UIJターンや孫ターン等の移住促進の目標設定がされていない等があります。

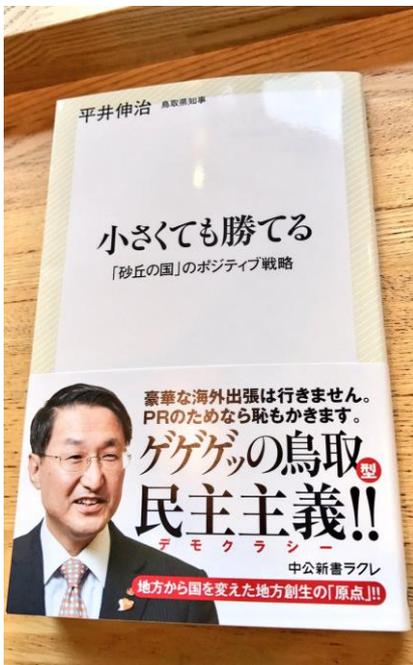
このような1期計画の問題点を整理、検証したうえで、2期計画の策定に着手する必要があると考えますが如何ですか。

【答弁】第2期総合戦略は、総合計画をベースとして地方創生に関する具体的な施策を盛り込むこととなります。

なお、施策によって必要な場合は、旧下毛地域を対象としたKPIを設定することも考えられます。

旧市町村ごとの人口推計については、現時点でも旧市町村ごとの推計を行っていないため、今後改めて推計を作成する考えはありません。

UIJターンってなに？



(まとめ) 鳥取県の平井知事の著書「小さくても勝てる - 」の中で、大企業病という病は県庁など役所にも当てはまる。多くの規則や前例があって、その中でしか動けない、動いてはいけないと思いついてしまう傾向があり、そうなるとうつな発想を働かせる余地もないし、そもそも動けなくなると。そして、ダーウィンの進化論の神髄は、「本当に強いのは、力が強い者ではなくて、変化に対応できる力がある者。その素質を備えたものだけが生き残っていくのだ」と。さらに、動植物でも、小さいけれども、生き残ってきた生命はたくさんある。それは変化に対応する力があつたからである。そこを目指せば活路は生まれる。チャレンジしなければ成功なしと語っています。待たなしの地方創生に向けて、力強くチャレンジすることを求めます。

2. 日本遺産認定を地域の活性化につなげるために（抜粋）

（1）農家民泊の宿泊者数と今後の展開

＜質問＞平成30年度より農家民泊事業を開始し、現在3軒が運営を行っています。平成30年、31年の宿泊件数と宿泊者数、農家民泊を始めるにあたっての行政の支援内容について伺います。

【答弁】平成30年度に2軒、平成31年度に1軒がオープンし、令和元年9月現在、3軒の農家民泊が稼動しております。3施設がオープンしてから令和元年7月末までの延べ宿泊件数と宿泊者数の実績は30件、71人となっています。

現在、市が行っている支援としては、耶馬溪支所管内を中心に農家民泊を始めるにあたって、公共機関への手続きの書類作成や提出を代行するなどの支援を行っています。

＜質問＞農家民泊を増やすためには、開設に必要な初期投資に対する支援や農家民泊のPRをもっとすべきと考えますが如何ですか。

【答弁】農家民泊は旧下毛の宿泊施設の減少を補うために有効な手段であり、農家の負担の軽減を図る財政的支援の必要性を感じています。活用できる国や県の制度を調査・研究して補助制度の整備を進めていくよう考えています。

農家民泊施設のPRについては、観光協会と連携しながら、インターネット等による発信を今後も努めていきたいと考えています。



（2）観光客の交通手段の確保

＜質問＞土日祝日には、中津駅から深耶馬を通って豊後森駅までの公共交通機関がありません。以前にも一般質問を行いました。新規路線バス、臨時バス運行の検討状況について伺います。

【答弁】昨年からは中津耶馬溪観光協会が秋の紅葉シーズンやゴールデンウィークなどに、観光ガイドが同行し耶馬溪の観光スポットを回る「ぐるぐるやばけい遊覧観光ツアー」を実施しており、今年のゴールデンウィークには91名の方にご利用いただきました。

＜質問＞たとえば、路線バスではなく、豊後森駅から中津駅間の日本遺産の構成文化財をめぐる観光案内バスを走らせ、観光案内のためのガイド料を徴収することはできないか伺います。

《答弁》

【答弁】ラグビーワールドカップの期間中の土日は、現在実施している「ぐるぐるやばけい遊覧観光ツアー」を玖珠町までコースを延長します。

また、日本語ガイドに加え英語ガイドが添乗して、日本遺産の構成文化財である青の洞門や旧豊後森機関庫等のスポットを巡る軽食付のロングコースとして、ガイド料を含む料金5,000円で実施する予定です。



活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
7月1日	(月)	原水爆禁止非核平和行進
7月3日	(水)	6月議会自由討議、議会運営委員会
7月5日	(金)	6月議会最終日、議員防災研修会、議会運営委員会
7月7日	(日)	耶馬溪町平田邸現地説明会、おぐすいちざ
7月8日	(月)	吉田ただとも個人演説会
7月10日	(水)	手話言語条例制定後の活動についての学習会
7月13日	(土)	北部校区なぎさサロン役員会、安達きよし個人演説会
7月14日	(日)	新大塚町自治会役員会
7月20日	(土)	北部校区なぎさサロン、相模原事件を考える講演会
7月21日	(日)	新大塚町夏休みラジオ体操(8/25まで)
7月24日	(水)	嬉野市議会視察受け入れ、総務企画消防委員会と執行部懇親会
7月25日	(木)	中津祇園(7/28まで)
7月26日	(金)	大宰府市議会とのグラウンドゴルフ交流会・懇親会
7月29日	(月)	議会運営委員会現地視察(堺市、大東市、木津川市議会等、31日まで)
8月3日	(土)	県政市政報告in北部、南部、地元平成会8月例会
8月4日	(日)	新大塚町納涼盆踊大会やぐら建て
8月6日	(火)	会派現地視察(太田市、富岡市、柏市、8日まで)
8月9日	(金)	8・9反核平和集會、なかつ寺町とうろう祭り、会派打ち合わせ
8月14日	(水)	新大塚町納涼盆踊大会
8月16日	(金)	市町村アカデミー研修(豊後高田市、別府市、17日まで)
8月17日	(土)	北部校区なぎさサロン
8月18日	(日)	新大塚町自治会人権学習会、新大塚町防犯パトロール
8月19日	(月)	9月議会一般質問通告
8月23日	(金)	一般質問執行部打合せ
8月24日	(土)	鶴市花傘鉾まつり巡行
8月25日	(日)	夏休みのラジオ体操最終日、鶴市花傘鉾祭り直会
8月26日	(月)	9月議会招集、自治体議会課題検討会議
8月28日	(水)	浸水被害調査、会派打合せ
8月29日	(木)	県政市政対策会議、中津市の人口推計データ作成
8月30日	(金)	異業種交流会、議会運営委員会
9月1日	(日)	防災士スキルアップ研修会
9月2日	(月)	9月議会開会、中津まちなみ会例会、耶馬溪につぼん酒をつくる会理事会
9月3日	(火)	農家民泊「みどりさん家」稲刈り体験
9月5日	(木)	DMO(観光地域づくり法人)説明会
9月7日	(土)	耶馬溪につぼん酒をつくる会稲刈り&直会
9月10日	(火)	9月議会一般質問(13日まで)
9月14日	(土)	ラグビー九州大学リーグ観戦、北部校区なぎさサロン役員会
9月15日	(日)	新大塚自治会「長寿を共に祝う会」
9月17日	(火)	中津市地方自治研究センター理事会
9月19日	(木)	9月議会議案質疑
9月20日	(金)	9月議会常任委員会(厚生環境、教育産業建設)
9月21日	(土)	北部校区なぎさサロン
9月24日	(火)	常任委員会(総務企画消防)、報道機関と総務企画委員会の意見交換会
9月25日	(水)	北部公民館まつり企画・実行委員会
9月26日	(木)	9月議会自由討議
9月28日	(土)	北部小学校運動会、北九州空港まつり
9月29日	(日)	新大塚町自治会役員会、地元八社神社清掃、大江東地区自治会敬老会
9月30日	(月)	9月議会最終日、議会運営委員会、会派打合せ

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/>又は大塚正俊のツイッターで検索して下さい。



夏休みラジオ体操



中津祇園(諸町)



県政市政報告会 in 北部



寺町とうろう祭り



防災士スキルアップ研修



長寿を共に祝う会

編集後記(ひとりごと) 10月1日から消費税率が10%に引き上げられました。クレジットカードや電子マネーなどで支払うとコンビニ等では2%を還元されますが、現金主義の僕には関係のない話。ささやかな抵抗で、来年1月の父の13回忌を前に、仏壇を新調しました。(まさとし)